



# うちのイチ押し!

今月号に掲載している講座・イベント・展覧会などの詳しい内容を、その事業の担当者が直接PRするコーナーです。

今回ご紹介するのは 芸術拠点形成事業大阪市実行委員会・ゆとりとみどり振興局文化部のバーチャル企画展「おおさかふらっとミュージアム」です。

## インターネットのバーチャル企画展「おおさか ぷらっとミュージアム」オープン

大阪市立の博物館・美術館が子どもから大人まで楽しめるバーチャル企画展「おおさか ぷらっとミュージアム」をインターネットに公開しました。

<http://www.museum.city.osaka.jp/flat/>

歴史や考古学、美術、科学や自然史など、さまざまな分野の学芸員が2つのバーチャル企画展を作りました。

ひとつめは動物を題材とした美術作品の「動物王国」、ふたつめは天文や季節行事の「星の歳時記」、それぞれ写真と解説からなる企画展に対して、ほかの分野の学芸員たちが自分の得意な視点で解説しなおしてみると、意外な発見が次々と生まれだす“しかけ”になって



企画展の入口画面、ここからお入り下さい!

います。解説のページは100以上、単独の博物館、美術館だけではできない新しい魅力を体験できると思います。

また、関連する実物資料がそれぞれの館で所蔵、展示されている場合は、その情報もあわせて見ることができます。この企画展を見ただ



学芸員のおもしろ話が盛りだくさんです

とで、本物の作品や資料をさまざまな角度から見つめなおしてみてください。きっと今まで以上におもしろい発見をすることができるでしょう。

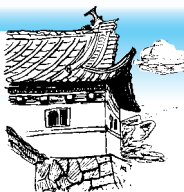
まずは、絵が好きな人も星が好きな子も、動物好きでも歴史好きでも、散歩気分で「ふらっと」見にきてみませんか?

なお参加した博物館・美術館の詳細はホームページ

「大阪市立の博物館・美術館情報」をご覧ください。

<http://www.museum.city.osaka.jp/>

このコーナーでは「うちのイチ押し」「親子でなにわ新発見」「人権啓発「ぱれっと」」の3つの読み物を順番に掲載しています。8月号は「親子でなにわ新発見!(阿倍野防災センター)」です。次回の「うちのイチ押し!」は10月号の掲載です。



## おおさか歴史探訪

大阪の史蹟や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

### 毛馬こうせん閘門あらいせきと洗堰

古くより京と大阪を結ぶ交通の大動脈であった淀川は、頻繁に氾濫をおこし、流域住民に甚大な被害をおよぼしました。そのため明治新政府はオランダから技術者を招聘し、明治29年から、全域にわたって根本的な改修工事をおこないました。

そのうち下流域では、毛馬から下流を川幅を広げ直線的に大阪湾に流すという大工事がおこなわれました。新淀川の開削です。また大阪の市街地に流入する水量を調節するために、それまで本流であった大川との分岐点である毛馬に洗堰を設けました。あわせて、物資運搬の船舶の運航に支障がないように、洗堰の横に閘門をつくりました。新淀川と大川の水位の違いを調節するために、間に船溜りをつくり、その前後に扉を取付けたものです。パナマ運河の小規模なものを想定すればよいでしょう。脇には淀川改修工事の竣工を記念して、バロック様式の特徴をもつ淀川改修紀功碑(明治42年竣工)が建立されています。これらは大阪の近代史にとっての一大事業であった淀川改修工事を象徴するモニュメントともいえるものであり、大阪市有形文化財に指定されています。

昭和47年からおこなわれた新洗堰の建設工事により時代の役目を終えた閘門と洗堰は、周辺整備工事がなされ一般公開されています。

(文・写真:教育委員会文化財保護担当)



毛馬閘門、上流(淀川側)扉部分

